

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】1 家庭・地域の教育力の向上

【施策の柱】(1)家庭への支援

細 施 策	①家庭教育の支援				担当課	担当課評価
					地域教育支援課	A
施 策 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児の親や小・中学校、高等学校の保護者を対象に、子どもの成長・発達段階に応じた家庭教育に関する学習機会を提供します。 ・身近な地域や学校をはじめとする豊かなつながりの中で家庭教育が行われるよう、指導者の養成に努めます。 					
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	今後も引き続き、市内保育園や幼稚園に充実した内容の家庭教育講座を提供し、家庭の教育力の向上を図ります。 また、家庭教育講座講師に対して研修会を行い、資質の向上を図ります。					
平 成 3 0 年 度 績 実	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA家庭教育学級委託事業:54校(延べ事業数 233回、延べ参加者数7,021人) ・家庭教育学級運営講座:1回(参加者数:105人) ・保育園家庭教育講座:18回(参加者数:376人) ・幼稚園家庭教育講座:3回(参加者数:81人) ・高等学校家庭教育講座:1回(参加者数:102人) ・親の学習講座:26回(参加者数2,387人) ・家庭教育講座登録講師研修会:1回(参加者数:12人) 					
成 果 実 績	項目名(単位)	H28	H29	H30		
	幼保高家庭教育講座(回)	23	24	22		
	PTA家庭教育学級委託数(校)	54	54	54		
現 状 ・ 課 題	PTA家庭教育学級については、全54校に委託し、各PTAごとに特色ある家庭教育学級を実施し、家庭の教育力の向上が図れました。また、保育園・幼稚園・高等学校家庭教育講座については、公立保育園・私立幼稚園、高等学校で計22回実施し、順調に進捗しています。					
改 善 の 方 策 等	今後も引き続き、市内保育園や幼稚園に充実した内容の家庭教育講座を提供し、家庭の教育力の向上を図ります。 また、家庭教育講座講師に対して研修会を行い、資質の向上を図ります。					

細 施 策	②学童保育の充実				担当課	担当課評価
					教育財務課	B
施 策 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者の就労等により家庭が常時留守になっている児童を対象に、放課後及び休日等の居場所を確保するとともに、児童の健全育成を図ります。 ・学童保育室の整備、改修等を行い、保育環境の改善を図ります。 ・放課後児童支援員(学童保育指導員)の確保と資質の向上に努めます。 					
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	狭隘化した学童保育室については、川越市総合計画実施計画に位置付け、増築、余裕教室の転用を行っていきます。また、指導員の募集方法を工夫し、必要数の指導員が確保できるよう努めます。					
平 成 3 0 年 度 績 実	<ul style="list-style-type: none"> ・年度当初の学童保育室を利用する児童数は2,708人でした。(全児童に占める割合は15%、入室を待機している児童はいない) ・狭隘化対応として霞ヶ関北学童保育室他4室の増室を行いました。また、霞ヶ関西学童保育室トイレの改修工事を行いました。 ・学童保育指導員37名が放課後児童支援員認定資格研修を受講しました。 					
成 果 実 績	項目名(単位)	H28	H29	H30		
	年度当初の入室児童数(人)	2,338	2,617	2,708		
	学童保育室施設設備等の工事、修繕数(件)	124	140	142		
	放課後児童支援員認定資格研修受講者数(人)	40	45	37		
現 状 ・ 課 題	学童保育室については、申請があった入室要件を満たした児童をすべて受け入れるために、余裕教室の転用等を行い、児童の放課後等の居場所確保を図っています。 入室児童数は増加傾向にあり、受け入れに必要な保育場所及び指導員の確保について課題があります。					
改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> ・狭隘化した学童保育室については、川越市総合計画実施計画に位置付け、増築、余裕教室の転用を行っていきます。 ・指導員の確保については、改正地方公務員法を踏まえて、更なる処遇改善に向けて関係課と協議していきます。 					

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 1 家庭・地域の教育力の向上

施策の柱		(1) 家庭への支援			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①家庭教育の充実	地域教育支援課	A	A	A
	②学童保育の充実	教育財務課	B		
学識経験者等 意見	<p>・学童保育指導員の確保については、研修や援助体制などについても充実を図り、指導員の定着に努めていただきたい。</p> <p>・学童保育室については、地震や不審者などの危機管理や対応が大切なことから、研修等で指導員の意識の高揚を図っていただきたい。</p>				A

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】1 家庭・地域の教育力の向上

【施策の柱】(2)地域の教育力の向上

細 施 策	①学校・家庭・地域の連携推進							担当課	担当課評価
								地域教育支援課	A
施 策 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・学校・家庭・地域の連携・協働により、地域ぐるみの教育の充実に努めます。 ・地域の特色を生かした体験活動と学校応援団活動の充実に努めます。 ・子どもたちの「生きる力」を育むため、家庭や地域の教育力の向上に努めます。 ・「放課後子供教室」の実施に向けた検討を進めます。 								
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもサポート事業については、子どもたちの実態に即するよう、学校と地域がより多くの情報を共有し、活動内容の改善を続け、更に多くの児童生徒が参加できるよう支援していきます。 ・学校応援団活動については、各地区における活動について、サポート委員会同士の認知を深め、活動の幅を広げることでより多くの学校の要望に応えられるよう、活動の更なる充実にに向けて支援していきます。 								
平 成 3 0 年 度 実 績	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもサポート委員会によるイベント型事業数136件(延べ参加者数15,841人) ・子どもサポート委員会による学校応援団活動数2,022件(延べ参加者数22,901人) ・子どもサポート委員会開催数73回(延べ参加者数2,247人) 								
指 標 及 び 説 明	【指標】 子どもサポート事業への参加者数				【説明】 市内14地区の子どもサポート事業への参加者数				
指 標 の 推 移	単 位	基 準 値 (H26)	実 績 値					目 標 値 (R2)	
	人	32,935	H27 41,765	H28 50,841	H29 43,368	H30 40,989	R1	R2	33,330
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもサポート事業への参加者数は、各地区が学校と連携し、子ども達の実態に即して活動内容の改善を行っていることにより、目標を上回り、順調に進捗しています。 ・学校応援団活動については、学校の要望を受けた各サポート委員会で活動の広がりが見られ、内容も充実し、順調に進捗しています。 ・各地区サポート委員の人材発掘・育成が課題となっています。 								
改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもサポート事業への参加者数は、子どもたちの実態に即するよう、学校と地域がより多くの情報を共有し、活動内容の改善を続け、更に多くの児童生徒が参加できるよう支援していきます。 ・学校応援団活動については、各地区における活動について、サポート委員会同士の認知を深め、活動の幅を広げることでより多くの学校の要望に応えられるよう、活動の更なる充実にに向けて支援していきます。 ・各地区サポート委員の人材発掘については、各種団体との連携・共同の中で、委員会への加入についての働きかけを支援していきます。 ・各地区サポート委員の人材育成については、1～3年目の委員に対し、ステップアップ講座でサポート委員としての資質向上を図ります。 ・「放課後子供教室」の実施に向けた検討を進めるため、令和元年度、小学校1校での試行的実施に取り組みます。 								

細 施 策	②社会教育関係団体への支援							担当課	担当課評価
								地域教育支援課	A
施 策 の 内 容	子どもたちの学びや体験活動の充実に図るため、PTAや子ども会育成会などの社会教育関係団体の活動を支援します。								
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> ・川越市PTA連合会に対し、今後も引き続き同様の支援を行ってまいります。 ・川越市子ども会育成団体連絡協議会に対し、今後も引き続き同様の支援を行ってまいります。 								
平 成 3 0 年 度 実 績	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA:広報紙「P連かわごえ」年3回発行(7月、12月、3月)、広報紙コンクール開催。PTA講演会(平成30年度は入間地区PTA連絡協議会と合同で実施)。PTA研究集会。県内視察研修開催。 ・市子連:広報誌「ひろば」年4回発行。川越市子ども会かるた大会開催。ジュニアリーダーズスクール年5回開催。育成者研修会年2回開催。県外視察研修開催。 								
成 果 実 績	項 目 名 (単 位)		H28	H29	H30				
	川越市PTA講演会参加者数(人)		272	236	336				
		川越市ジュニアリーダーズクラブの登録者数(人)	371	403	365				
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・川越市PTA連合会事業は、計画どおり実施されており、順調に進捗しています。 ・川越市子ども会育成団体連絡協議会事業は計画どおり実施されており、順調に進捗しています。 								
改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> ・川越市PTA連合会に対し、今後も引き続き同様の支援を行います。 ・川越市子ども会育成団体連絡協議会に対し、今後も引き続き同様の支援を行います。 								

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】1 家庭・地域の教育力の向上
 【施策の柱】(2)地域の教育力の向上

細 施 策	③地域の教育活動への支援						担当課	担当課評価	
							中央公民館	B	
施 策 の 内 容	町内(字町)公民館講座や公民館登録グループの公開講座等の開設を支援するとともに、各種団体との連携による活動を通じ、地域の教育活動を支援します。								
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	各館において、講座数及び参加者数の目標設定を行うとともに、公民館登録グループの育成に努めてまいります。 また引き続き、それぞれ地域の特性を生かしながら、地域の教育活動が活発になるよう、地域教育活動団体の教育事業等を支援・連携していきます。								
平 成 3 0 年 度 実 績	<ul style="list-style-type: none"> ・226事業を実施し、延べ25,434人の参加があったものです。(うち公民館登録グループの公開講座は、101事業、延べ2,118人の参加です。) ・事務支援71団体で延べ参加者数は9,324人です。 								
指 標 及 び 説 明	【指標】 講座数及び講座参加者数				【説明】 公民館登録グループの公開講座等の講座数及び参加者延べ人数				
	単位	基準値 (H26)	実 績 値				目標値 (R2)		
指 標 の 推 移	講座	292	H27 280	H28 237	H29 256	H30 226	R1	R2	300
	人	24,907	29,306	28,087	29,809	25,434			25,000
現 状 ・ 課 題	公民館登録グループの構成員が減少するとともに、公民館登録グループそのものも減少傾向にあります。								
改 善 の 方 策 等	土日に事業を開催するなど、若い世代が参加しやすい環境づくりを行うとともに、魅力のある講座等を通じて、新たな公民館登録グループを結成していけるように取り組み、公民館登録グループの育成に努めていきます。								

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】1 家庭・地域の教育力の向上

施 策 の 柱	(2)地域の教育力の向上					
施 策 評 価	細施策	担当課	施策評価		総合評価	
			細施策	施策の柱		
	①学校・家庭・地域の連携推進	地域教育支援課	A	A		
	②社会教育関係団体への支援	地域教育支援課	A			
	③地域の教育活動への支援	中央公民館	B			
学 識 経 験 者 意 見 等	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館登録グループの減少化に対して、新たな登録グループが結成されるよう様々な方策を検討していただきたい。 ・放課後子供教室については、他市の事例も参考にしながら、方向性や内容について検討していただきたい。 				A	

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】2 生涯学習活動の推進

【施策の柱】(1)生涯学習を推進する基礎づくり

細 施 策	①生涯学習を推進するための体制の充実	担当課		担当課評価
		文化芸術振興課・中央公民館		B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が利用しやすい「市民活動・生涯学習施設」の充実に努めます。 ・市民の生涯学習活動を支援する職員の意識啓発や資質を高めるための研修を実施します。 ・協働に関する研修を実施し、市民と行政が連携した事業の推進を図ります。 			
前年度の改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ①指定管理者と連携し、「市民活動・生涯学習施設」の適正な管理運営をしてまいります。 ②ボランティア養成講座と共同で実施するなど他の事業とも調整を図りながら、公民館職員研修会を充実していきます。 ③研修の実施内容や受講対象者等を見直す必要があります。 			
平成30年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ①「市民活動・生涯学習施設」において、指定管理者による提案事業講座を約400時間実施しました。 ②基本法令及び公民館の事業計画の手法を学ぶための公民館職員研修会を4回開催しました(39名の参加)。うち、第4回目の研修は、ボランティア養成講座と兼ねて実施したものです。 ③NPOのブリッジパーソン化を目的とした市民活動支援講座を開催し、協働に関する職員研修と合同で実施しました。(参加者102名) 			
成果実績	項目名(単位)	H28	H29	H30
	市民活動・生涯学習施設平均稼働率(%)	56.5	61.4	65.8
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ①ウエスト川越内の「市民活動・生涯学習施設」は、施設の認知度が高まり、平成27年度の供用開始時より稼働率が上がってきています。 ②公民館職員研修会は、参加者数が少ないことから、対象となる職員が参加しやすい環境づくりが必要です。 ③協働に関する職員研修を市民団体と連携開催で行い、好評を得ましたが、年1回の開催、各課1名という現状で、市職員全体の協働の意識向上を図っていく工夫が必要です。 			
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ①指定管理者と連携し、生涯学習講座の充実を図ることにより生涯学習の裾野を広げるとともに、施設稼働率の向上に努めます。 ②他の事業と共同で実施するなど、調整を図りながら、公民館職員研修を充実させていきます。 ③研修の実施内容を工夫し、毎年、異なる職員を受講者にするなど、市職員全体に協働の意識を高めていけるものにする必要があります。 			

細 施 策	②市民参加の体制の充実	担当課		担当課評価
		文化芸術振興課・中央公民館		B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民と行政の情報交換や相互交流を充実させ、行政の事業等に参加しやすい体制の充実に努めます。 ・市民と行政との協働を効果的に達成するため、「協働推進事業制度」を積極的に推進します。 ・地域活動を推進する人材の発掘に努めます。 			
前年度の改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ①公民館運営協力委員会が、それぞれの地域の特性を生かしながら、新たな公民館事業の提案を行う等の役割を担っていく必要があります。 ②補助金の補助率、補助対象経費、募集スケジュール等の要件を見直すとともに、市民活動団体等への広報に努めます。 ③市民講師(主宰者)募集については、HP、メール配信、ツイッター、ポスター等の広報活動の充実に努めます。 			
平成30年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ①17公民館で、公民館運営協力委員会を延べ32回実施しました(延べ263名の参加)。 ②市民活動団体等から提案のあった8事業に対し、川越市協働事業審査委員会にて審査を行い、補助金を交付しました。 ③市民講師(主宰者)による市民講座を、前期28講座、後期21講座の計49講座実施しました。 			
成果実績	項目名(単位)	H28	H29	H30
	提案型協働事業補助金応募件数(件)	11	12	8
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ①公民館運営協力委員会は、公民館利用団体等の情報交換の場としてのみとなっています。 ②提案型協働事業の応募件数が減少傾向にあり、応募件数の増加に向けた取り組みが必要です。 ③市民講座は、実施件数が平成29年度の44講座から増えており、順調に進捗しています。 			
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ①令和元年度からは、公民館事業を客観的に評価するためのしくみづくりを公民館運営協力委員会等において、検討していきます。 ②補助金の募集スケジュール等の要件を見直し、1年の早い時期から事業に取り組めるようにするとともに、市民活動団体等への広報に努めます。 ③市民講師(主宰者)募集については、広報誌への掲載の他、HP、メール配信、ツイッター、ポスター等の広報活動の充実に努めます。 			

【方向性】 II - 活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱	(1)生涯学習を推進する基礎づくり				
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
学識経験者等 意見	①生涯学習を推進するための体制の充実	文化芸術振興課 中央公民館	B	B	B
	②市民参加の体制の充実	文化芸術振興課 中央公民館	B		
学識経験者等 意見	なし				B

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】2 生涯学習活動の推進

【施策の柱】(2)市民の学習ニーズの把握及び生涯学習情報の充実

細 施 策	①学習ニーズの把握				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課	A
施策の内容	市民意識調査や講座受講後の満足度調査等、各種アンケート等の調査活動を実施し、市民の学習ニーズの把握に努めます。					
前年度の改善の方策等	市民の学習ニーズを把握するため、引き続きアンケートを実施していきます。					
平成30年度実績	川越大学間連携講座を実施した4大学において、受講生に対しアンケートを実施しました(回収率92.39%)。また、高校生小説大賞関連事業「小説の書き方講座」において、アンケートを実施しました。					
成果実績	項目名(単位)	H28	H29	H30		
	アンケート調査実施回数(回)	5	5	5		
現状・課題	アンケート調査実施回数の成果実績は、計画どおり実施することができ、大学間連携講座のアンケート回収率も昨年度より2.18%増加し、順調に進捗しています。また、アンケート結果は、次回講座の参考となるよう講座を実施した各大学や講師にも情報提供しています。 また、第三次川越市生涯学習基本計画が令和2年度までの計画期間となっており、今年度は次期計画策定の準備として、講座受講者に限らず、幅広く市民のニーズを把握するための意識調査を行います。					
改善の方策等	市民の学習ニーズを把握するため、アンケートの回収率をあげるよう努めます。 また、生涯学習に関する市民の意識や実態等を把握する意識調査を実施し、次期川越市生涯学習基本計画策定のための基礎資料とします。					

細 施 策	②市民が利用しやすい生涯学習情報の提供				担当課	担当課評価
					文化芸術振興課	A
施策の内容	生涯学習情報誌「マナビガイド」の発行や、ホームページやSNS等を活用した情報提供を行います。					
前年度の改善の方策等	「マナビガイド」に情報を掲載している公共施設等に、引き続き配布を行うよう努めます。					
平成30年度実績	「マナビガイド」は、年間12回(毎月末)発行し、文化芸術振興課や市内公共施設に設置しました。また、川越市公式ホームページに掲載するとともに川越市ツイッター公式アカウントで、毎月新号の発行を周知しました。					
成果実績	項目名(単位)	H28	H29	H30		
	生涯学習情報誌マナビガイド配布箇所数(箇所)	46	47	50		
現状・課題	美術館、運動公園、ゆうちょ銀行への配布を増やし、順調に進捗しています。					
改善の方策等	「マナビガイド」に情報を掲載している公共施設等のうち、配布物の設置場所がない等の理由により設置していない施設(保育園等)があるため、配布への協力を依頼し、配布箇所数の増加に努めます。					

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(2) 市民の学習ニーズの把握及び生涯学習情報の充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①学習ニーズの把握	文化芸術振興課	A	A	A
	②市民が利用しやすい生涯学習情報の提供	文化芸術振興課	A		
学識経験者等 意見等	市民の学習ニーズの把握については、事業を実施するための基礎資料となるので、引き続き情報収集していただきたい。				

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】2 生涯学習活動の推進

【施策の柱】(3)社会の変化に応じた学習機会の提供

細 施 策	①ライフステージにおける課題の学習				担当課	担当課評価
					中央公民館	C
施策の内容	乳幼児の心と体を育むことをねらいとした子育て講座等、生涯の各時期に生じる課題の学習活動の提供に取り組むとともに、さらなる学習機会の充実・提供に努めます。					
前年度の改善の方策等	公民館職員研修を充実させ、魅力ある事業を企画していく必要があります。 また、生涯の各時期に生じる課題を取り上げるとともに、時代に即したテーマを取り上げ、さらなる学習機会の提供に努めます。					
平成30年度実績	全公民館で163事業延べ1,124回実施し、延べ34,293人の参加がありました。					
成果実績	項目名(単位)	H28	H29	H30		
	ライフステージにおける課題の学習の公民館主催事業参加者数	37,727	36,550	34,293		
現状・課題	例年程度の事業数(162⇒163事業)を実施していますが、参加者数は減少傾向にあります。 公民館事業において、主たる事業である高齢者学級についても、講座の登録数や1回あたりの参加者数が減少していることが原因であると思われます。					
改善の方策等	公民館職員研修を充実させ、魅力ある事業を企画していきます。 また、興味の持ちやすいテーマを継続的に開催し、共通の目的を持った市民が交流することで、講座をきっかけとしたグループ活動を促すよう、努めていきます。					

細 施 策	②現代的課題の学習							担当課	担当課評価
								中央公民館	B
施策の内容	社会的に要請されている環境学習、情報学習、人権学習等のような現代的課題の学習活動の提供に取り組むとともに、さらなる学習機会の充実・提供に努めます。								
前年度の改善の方策等	公民館職員研修を充実させ、魅力ある事業を企画していく必要があります。 また、日常生活と結びつく、身近な問題や課題を取り上げるとともに、地域のニーズに即した学習機会の提供に努めます。								
平成30年度実績	全公民館で128事業375回実施し、延べ8,308人の参加がありました。								
指標・説明	【指標】 公民館主催事業の講座数及び講座参加者数				【説明】 公民館主催事業の講座数及び講座参加者延べ人数				
	単位	基準値 (H26)	実績値					目標値 (R2)	
指標の推移	講座	128	H27 130	H28 103	H29 107	H30 128	R1	R2	130
	人	20,152	17,963	7,609	7,220	8,308			21,000
現状・課題	講座の回数、参加者数は、増加傾向となっておりますが、例年同様な事業を展開しているため、内容がマンネリ化していることが懸念されます。								
改善の方策等	公民館職員研修を充実させ、魅力ある事業を企画していきます。 新規で情報学習において、インターネット講座、中級講座、スマホ講座を実施するなど魅力のある事業を企画するとともに、気軽に参加しやすい講座をとおして、より多くの人が参加できるように努めていきます。								

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(3) 社会の変化に応じた学習機会の提供			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①ライフステージにおける課題の学習	中央公民館	C	B	B
	②現代的課題の学習	中央公民館	B		
学識経験者等 意見	<p>・魅力ある公民館事業を企画するために、専門職としての社会教育主事の配置に努めていただきたい。また、市民センターとの兼務ではなく、公民館として担当制を検討していただきたい。</p> <p>・公民館については、公民館を設置していない自治体も増えてきており、特に若い世代にとっては実際に何をやる場所なのかという姿が見えないと思われる。これまでの公民館活動のやり方でよいのか検討する必要がある。</p>				B

細 施 策	①人権教育の充実				担当課	担当課評価
					地域教育支援課	A
施策の内容	・人権教育の一環として、児童生徒による人権作文・人権標語・人権絵画の取組を通して人権意識の高揚に努めます。 ・人権教育推進事業を公民館・小学校・中学校に委嘱するとともに、人権教育実践報告会やPTA・子ども会育成会人権啓発フィルム研修会を実施し、同和問題などの人権問題の解決を目指します。					
前年度の改善の方策等	更に公民館区で学校・家庭・地域が一体となって人権教育の充実に努めます。					
平成30年度実績	・人権文集「あけぼの」作成と文集を活用した授業の推進 ・人権絵画展「いのち・こころを大切に作る絵画展」の開催 3日間220人 ・人権作文発表(人権教育実践報告会)6人 ・「川越市の人権教育」の中に人権教育推進事業の委嘱館・委嘱校の実践や授業研究会の記録などを「人権教育実践収録」としてまとめました。					
成果実績	項目名(単位)	H28	H29	H30		
	人権作文・標語・絵画応募総数(点)	835	812	772		
	委嘱小・中学校数(校)	10	11	11		
現状・課題	人権作文・標語・絵画については、優秀な作品を人権文集「あけぼの」に掲載し、人権教育啓発資料として活用できました。 「川越市の人権教育」(人権教育実践集録)を人権教育推進資料として活用できたことなど、順調に進捗しています。					
改善の方策等	更に公民館区で学校・家庭・地域が一体となって人権教育の充実に努めます。					

細 施 策	②人権啓発資料の活用				担当課	担当課評価
					地域教育支援課	A
施策の内容	各種人権啓発資料を作成するとともに、児童生徒をはじめ市民に配布することで人権意識の高揚に努めます。					
前年度の改善の方策等	今後も人権啓発資料の内容の充実に努め活用の促進を図ります。					
平成30年度実績	・川越市PTA・子ども会育成会人権啓発フィルム研修会開催 ・人権文集「あけぼの」発行 3,150部 ・人権カレンダー発行 40,000部 ・川越市人権教育推進協議会広報紙「人権かわごえ」発行(年2回) 30,000部					
成果実績	項目名(単位)	H28	H29	H30		
	川越市PTA・子ども会育成会人権啓発フィルム研修会参加者数(人)	228	238	237		
	人権カレンダー発行(部)	40,000	40,000	40,000		
現状・課題	川越市PTA・子ども会育成会人権啓発フィルム研修会では、障害者の人権に関わる活発な意見交換がなされました。また、人権教育啓発資料は、児童生徒に対し学校の授業で、保護者に対してはPTA家庭教育学級で、そして一般の市民の方に対しては、公民館の人権教育指導者養成講座で、それぞれ活用しています。					
改善の方策等	今後も人権啓発資料の活用に努めます。					

細 施 策	③人権教育指導者の養成				担当課	担当課評価
					地域教育支援課	A
施 策 の 内 容	家庭や職場、地域社会における人権問題の解決を目指して、PTA家庭教育学級の人権教育講座や公民館の人権教育指導者養成講座を開催し、身近な人権教育指導者の養成を図ります。					
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	引き続き、地域の人権教育活動が活発になるよう、公民館と連携し人権教育を充実していきます。					
平 成 3 0 年 度 実 績	<ul style="list-style-type: none"> ・公民館における人権教育指導者養成講座の実施(17公民館で実施 90講座 参加者数3,692人) ・小堤集会所事業:人権教育指導者養成講座の実施(5回 参加者数175人) 					
成 果 実 績	項目名(単位)	H28	H29	H30		
	公民館における人権教育指導者養成講座参加者数	3,845	3,504	3,692		
	小堤集会所事業:人権教育指導者養成講座参加者数	167	178	175		
現 状 ・ 課 題	公民館登録グループの公開講座等を積極的に展開していますが、登録グループ数そのものが減少傾向となっています。また、講座数や参加者数は前年度と比較すると増加しています。1講座の平均参加者数が約40人となっていることから、当課で想定している1講座平均30人を上回っています。					
改 善 の 方 策 等	引き続き、地域の教育活動が活発になるよう、地域における人権教育活動団体の教育事業、啓発活動等を支援・連携していきます。					

細 施 策	④関係機関・団体等との連携				担当課	担当課評価
					地域教育支援課	A
施 策 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・人権意識の高揚と差別意識の解消のため、関係機関や団体等と連携した教育活動を推進します。 ・自治会等と連携した教育活動を推進し、地域内の交流を深めるとともに、学習の場としての集会所事業を推進します。 					
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	今後も地域内の交流を更に深めるために自治会との連携を密にするとともに、集会所運営委員会、協力委員会で協議を重ね、事業内容等の充実に努めます。					
平 成 3 0 年 度 実 績	集会所事業として、青少年を対象に習字教室、フレンドスクールを実施(参加人数1,918人)。成人対象で指導者養成講座、成人学習講座等を実施(参加人数118人)。女性対象で女性講座を実施(参加人数82人)。高齢者対象で高齢者学級講座を実施(参加人数122人)。集会所事業の成果発表の場としての集会所ふれあいあまつり開催(参加人数318人)。					
成 果 実 績	項目名(単位)	H28	H29	H30		
	集会所事業 講座・教室参加者数(人)	2,836	2,634	2,700		
	ふれあいあまつり参加者数(人)	285	314	318		
現 状 ・ 課 題	小堤集会所におけるフレンドスクール事業は、多くの子どもたちの参加があり、順調に進捗しています。しかし各講座では参加者の固定化、高齢化が目立ち参加者数は、ほぼ横ばいでした。					
改 善 の 方 策 等	今後も地域内の交流を更に深めるために自治会との連携を密にするとともに、集会所運営委員会、協力委員会で協議を重ね、事業内容等の充実に努めます。					

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進
 【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(4) 人権施策の推進			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①人権教育の充実	地域教育支援課	A	A	A
	②人権啓発資料の活用	地域教育支援課	A		
	③人権教育指導者の養成	地域教育支援課	A		
	④関係機関・団体等との連携	地域教育支援課	A		
学識経験者等 意見	人権教育については、外国籍の方が増えてきている中で更に重要性が増しているため、積極的に進めていただきたい。				A

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】2 生涯学習活動の推進

【施策の柱】(5)身近な学習施設の整備・運営

細 施 策	①公民館の設置				担当課	担当課評価
					地域教育支援課	B
施 策 の 内 容	身近な学習施設としての公民館の建設を推進します。					
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> ・(仮称)霞ヶ関西公民館建設推進については、平成30年度中に竣工予定です。 ・霞ヶ関北公民館整備推進については、建築設計等に向けての予算確保に努めるとともに、建設予定地の安全管理に努めてまいります。 ・(仮称)西公民館建設推進については、地域住民のご意見を伺いながら、庁内で検討を進めてまいります。 					
平 成 3 0 年 度 実 績	<ul style="list-style-type: none"> ・霞ヶ関西公民館：平成30年度末竣工。 					
成 果 実 績	項目名(単位)	H28	H29	H30		
	設計業務委託契約の本数(件)	1	0	0		
	建設工事請負契約の本数(件)	0	3	4		
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・霞ヶ関西公民館推進：平成31年4月1日にオープンしました。 ・霞ヶ関北公民館整備推進：平成25年7月に建設検討懇話会から提言書が提出されましたが、平成31年度は予算確保に至らず、建設予定地の管理を行っているのみの状況です。 ・(仮称)西公民館建設推進：平成26年6月に検討懇話会から提言書が提出されていますが、進展がありません。 					
改 善 の 方 策 等	<ul style="list-style-type: none"> ・霞ヶ関北公民館整備推進については、建設検討懇話会の提言書を尊重し、地域住民のご意見を伺いながら、公民館移転に向けて庁内で検討を進めます。また、建築設計等に向けての予算確保に努めるとともに、建設予定地の安全管理に努めます。 ・(仮称)西公民館建設推進については、地域住民のご意見を伺いながら、庁内で検討を進めます。 					

細 施 策	②既存公民館の整備・運営				担当課	担当課評価
					中央公民館	B
施 策 の 内 容	既存の公民館については、大規模改修工事等を計画的に実施し、利用しやすい学習施設となるよう整備運営に努めます。					
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	市民にとって、地域の身近な学習施設として利用されるよう努めます。					
平 成 3 0 年 度 実 績	計画修繕は、28件中12件の実施をしており、42.9%の実施率です。突発修繕は、72件実施しています。よって、100件中84件の修繕を行っており、要望件数の84.0%を実施しています。					
成 果 実 績	項目名(単位)	H28	H29	H30		
	修繕要望件数の実施率(%)	67	82	84		
現 状 ・ 課 題	ライフラインや空調機などの突発的な修繕の対応を行っているのが現状です。					
改 善 の 方 策 等	令和2年度改訂予定の公共施設等総合管理計画及び同年度策定予定の「公民館等における個別施設計画」に基づき、計画的かつ効果的に修繕や工事を実施していきます。					

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(5) 身近な学習施設の整備・運営			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①公民館の設置	地域教育支援課	B	B	B
	②既存公民館の整備・運営	中央公民館	B		
学識経験者等 意見等	地域の身近な学習施設として整備・運営を行うため、引き続き整備修繕の予算の確保に努めていただきたい。				

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】2 生涯学習活動の推進

【施策の柱】(6)市立図書館の充実

細 施 策	①図書館サービスの充実							担当課	担当課評価
								中央図書館	C
施 策 の 内 容	市民のさまざまなニーズに対応した図書館サービスの向上を図る取組を推進します。また、図書館利用に障害のある人に配慮した図書館サービスに努めます。								
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	市民のさまざまなニーズに対応した、多面的な観点からの資料の提供を推進します。また、図書館利用に障害のある人に配慮した図書館サービスのPRに努めます。								
平 成 3 0 年 度 績 実	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度は、本・雑誌・AV(視聴覚)資料の貸し出しを1,742,996冊行いました。 障害者サービスでは、録音図書(2,173タイトル)や点字図書(56タイトル)の貸し出しを行いました。また、心身等の障害がある方への郵送サービスでは、図書等(78点)の貸し出しを行いました。 10代を対象にしたサービスでは、成人だけではなく中学生や高校生が作家にインタビューする時間を設けた講演会を行いました。 レファレンスサービスでは、利用者の質問に対し中央図書館で5,101件の資料や情報の支援を行いました。 								
指 標 及 び 説 明	【指標】 図書館の貸出冊数				【説明】 市立図書館の本・雑誌・AV資料の貸出総数				
指 標 の 推 移	単位	基準値 (H26)	実 績 値					目標値 (R2)	
	冊	1,845,426	H27 1,848,799	H28 1,803,754	H29 1,758,562	H30 1,742,996	R1	R2	1,950,000
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> 貸出冊数の総数実績値が、平成29年度実績値に対して、約1%と減っているため、進捗はあまり順調ではありません。 録音図書は、平成29年度(2,914タイトル)と比較して約24%、また、点字図書は、平成29年度(59タイトル)と比較して約5%減っています。しかし、郵送サービスは平成29年度(24点)と比較して利用が伸びています。 レファレンスサービス件数は、平成29年度(4,742件)と比較して利用が伸びています。 								
改 善 の 方 策 等	市民のさまざまなニーズに対応した、多面的な観点からの資料の提供を推進します。また、図書館利用に障害のある人に配慮した図書館サービスのPRに努めます。								

細 施 策	②図書館資料・情報提供サービス機能の充実							担当課	担当課評価
								中央図書館	A
施 策 の 内 容	<ul style="list-style-type: none"> 多様な市民要望に応えるため、充実した図書館サービスを実施する上で必要となる各分野の資料収集に努めます。 市民の学習・研究活動支援の充実を図るため、他の図書館等との連携や情報の提供サービス機能の充実に努めます。 								
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	4館が連携し、引き続き、蔵書の充実に努めるとともに、資料の収蔵能力を拡充するため、中央図書館の書架増設等について検討していきます。								
平 成 3 0 年 度 績 実	蔵書数は中央図書館が494,921冊、西図書館が178,399冊、川越駅東口図書館が74,220冊、高階図書館117,149冊となっており、合計864,689冊です。 資料の収蔵能力を拡充するため、空き施設の一部を確保しました。								
指 標 及 び 説 明	【指標】 図書館の蔵書数				【説明】 市立図書館の蔵書総数(視聴覚資料含むが、新聞・雑誌は除外)				
指 標 の 推 移	単位	基準値 (H26)	実 績 値					目標値 (R2)	
	冊	836,315	H27 843,893	H28 852,908	H29 858,306	H30 864,689	R1	R2	860,000
現 状 ・ 課 題	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度の実績は、864,689冊で既に目標値を達成しており、順調に進捗しています。 今後、中央図書館の収蔵能力を更に拡充するためには、収蔵場所の確保が課題です。 								
改 善 の 方 策 等	4館が連携し、引き続き、蔵書の充実に努めるとともに、資料の収蔵能力を拡充する方策を検討していきます。								

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】2 生涯学習活動の推進

【施策の柱】(6)市立図書館の充実

細 施 策	③図書館を活用した学習活動の推進		担当課		担当課評価			
			中央図書館		A			
施 策 の 内 容	幅広い世代で構成される市民の、多様な学習活動に即した講座や講演会等の事業を推進します。							
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	引き続き多様な学習活動に即した講座や講演会等の事業を開催します。							
平 成 3 0 年 度 績 実	乳幼児から児童を対象とした各種おはなし会や、作家による講演会、郷土資料を活用した講座、バリアフリー映画会などを開催しました。							
指 標 及 び 説 明	【指標】 図書館の事業開催回数			【説明】 各種おはなし会や講演会など市立図書館が主催する図書館を活用した事業の開催回数				
	単位	基準値 (H26)	実 績 値				目標値 (R2)	
指 標 の 推 移	回	456	H27 472	H28 479	H29 501	H30 509	R1 R2	470
現 状 ・ 課 題	乳幼児から児童を対象とした各種おはなし会や、郷土資料を活用した博物館との共同事業、バリアフリー映画会などを開催し、実績は順調です。							
改 善 の 方 策 等	引き続き多様な学習活動に即した講座や講演会等の事業を開催します。							

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】2 生涯学習活動の推進

施 策 の 柱	(6)市立図書館の充実				
施 策 評 価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
	①図書館サービスの充実	中央図書館	C	A	
	②図書館資料・情報提供サービス機能の充実	中央図書館	A		
③図書館を活用した学習活動の推進	中央図書館	A			
学 識 経 験 者 等 意 見	<ul style="list-style-type: none"> ・近年はネット利用が進んでいるが、紙ベースで本を読むことの重要性をどのように広げていくかという方向に目を向けながら、サービスの充実を図っていただきたい。 ・川越に関する資料について、現在資料が何十年か先に川越の歴史を振り返るときの貴重な資料になるので、収集に努めていただきたい。 				A

細 施 策	①展示機能の充実							担当課	担当課評価
								博物館	C
施策の内容	常設展示の見直しを検討し、新たな学術的成果やより学びやすい展示手法を展示に反映できるよう研究を進め、展示機能の充実を図ります。								
前年度の改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、中長期的な常設展示室の改修をめざし、具体的な展示案を検討し、機会を捉えて設計・工事に移行できるよう準備を進めます。 ・また、企画展・特別展は市民・来館者の関心・興味を把握し、常設展示に反映できる内容でのテーマ設定を検討します。 								
平成30年度実績	<ul style="list-style-type: none"> ・企画展示では「第28回収蔵品展 戦中・戦後の川越の歩み」「第61回埼玉県名刀展 日本刀-千年の歴史-」「第45回企画展 川越とサツマイモ」「第46回企画展 山王塚古墳-上円下方墳の謎に迫る-」を開催しました。また、企画展示に合わせて講演会・野外博物館教室を実施しました。 ・常設展示の見直しについては、館蔵資料の洗い出しを行った上で短期的に実現可能な展示資料の入れ替えを行いました。 ・博物館入館者数は89,154人で前年度と比べて409人減少(前年比99.5%)しています。 								
指標及び説明	【指標】 博物館の入館者数				【説明】 博物館の年間入館者数				
指標の推移	単位	基準値 (H26)	実 績 値					目標値 (R2)	
	人	98,205	H27 98,025	H28 96,516	H29 89,563	H30 89,154	R1	R2	100,000
現状・課題	平成30年度の博物館の入館者数は89,154人で前年度と比べて409人減少となりました。こうした状況を改善するためには、常設展示室の改修と来館者を誘導するための魅力的な情報発信などの検討が必要です。								
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・今後、中長期的な常設展示室の改修をめざし、具体的な展示案を検討していくとともに、短期的に実現可能な展示資料の入れ替えを継続的に行っていきます。 ・今後も展示室の改修に向けての準備作業を行うとともに、来館者の誘致に向けての観光導線の検討・情報発信を進めます。 ・企画展・特別展は市民・来館者の関心・興味を把握し、常設展示に反映できる内容でのテーマ設定を検討します。 								

細 施 策	②郷土資料の収集・保存							担当課	担当課評価
								博物館	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・川越の歴史と文化に係る資料収集に努めるとともに、その保存と活用を図ります。 ・資料を保存する収蔵庫については、収蔵能力が不足しているため、効率的な収蔵保管に努めるとともに、新たな収蔵施設の確保を検討します。 								
前年度の改善の方策等	収蔵資料の効率的な保管を進めるとともに、新たな収蔵スペースの確保に向け、さらに検討を進めます。また、貴重な郷土の歴史資料について積極的に収集を行います。								
平成30年度実績	平成30年度は寄贈資料458点を受け入れ、収蔵資料の累計は38,619点となりました。また、市民から寄贈・寄託された文書資料を整理した「旧鏡山酒造竹内家文書目録」「川越喜多町名主御用日記 四」、前橋市立図書館所蔵松平藩資料記録をボランティアを中心に翻刻し「川越藩松平大和守家記録 四」を刊行しました。収蔵施設については庁内で調整会議を行い、旧あけぼの・ひかり児童園と旧吉田学校給食センターを収蔵スペースとして暫定的に利用することになりました。								
指標及び説明	【指標】 博物館の収蔵資料点数				【説明】 博物館収蔵資料の累計点数				
指標の推移	単位	基準値 (H26)	実 績 値					目標値 (R2)	
	点	37,746	H27 37,816	H28 37,985	H29 38,161	H30 38,619	R1	R2	40,000
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度は458点の寄贈資料を受け入れ、収蔵資料点数は着実に増加し、博物館資料の収集・保存はおおむね順調に進捗しています。 ・懸案であった収蔵スペースの確保についても、旧あけぼの・ひかり児童園、旧吉田学校給食センターを暫定的に利用することとなり、進展がありました。 								
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> ・貴重な郷土の歴史資料について計画的な収集に努めるとともに、効率的な保管を進めます。また、恒常的な収蔵スペースの確保に向け、さらに検討を行います。 								

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】2 生涯学習活動の推進

【施策の柱】(7)博物館の整備・充実

細 施 策	③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化						担当課	担当課評価
							博物館	B
施策の内容	<ul style="list-style-type: none"> 市民の多様な学習要求に対応できるよう、講座・教室など教育普及事業の充実を図ります。 小・中学校等との連携を進め、学校の教育課程に位置付けた博物館活用の充実を図ります。 							
前年度の改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 講座、教室の参加者の満足度をさらに高めるためには、より一層参加者の興味関心をひくような工夫が必要であり、講師や内容、進め方について改善を図ります。 学校利用については、内容、時期等できるだけ学校の要望に沿えるようさらに努めます。 							
平成30年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 大人向け事業の参加者数は2,104人で満足度は90.8%、子ども向け事業は1,503人で満足度は96.8%でした。 教育活動の一環として博物館を利用した学校は、市内延べ90校7,830人、市外272校24,403人で、総計362校32,233人でした。また、市内幼稚園として5回168人の利用がありました。 							
指標及び説明	【指標】			【説明】				
	①博物館講座・教室受講満足度 ②教育課程に位置付けた博物館活用の学校数			①受講者アンケートにおいて「大変よかった」と及び「よかった」と回答のあった割合 ②小・中学校等の博物館活用の年間学校数				
指標の推移	単位	基準値 (H26)	実績値				目標値 (R2)	
			H27	H28	H29	H30	R1	R2
	① %	95.3	95.1	93.1	95.0	93.7		
② 校	358	354	376	349	362			370
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> 講座、教室等における事業の満足度については、前年比で1.1%減少しましたが、子ども向け事業については0.9%増加しています。 学校利用については、前年に比較して中学校や高校の利用が伸びて13校増加し、順調に進捗しています。 							
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 多くの講座、教室等で参加者からの高評価をいただいておりますが、今後も講師との事前協議や担当内での検討を重ねて改善を図るとともに、市民ニーズに配慮した事業の実施にも取り組みます。 学校利用については、引き続き利用校との綿密な打ち合わせを実施し、要望に沿った内容での対応が取れるよう配慮していきます。 							

細 施 策	④博物館・蔵造り資料館の整備						担当課	担当課評価
							博物館	C
施策の内容	社会教育施設、文化財及び観光拠点施設としての機能を充実させるため、博物館・蔵造り資料館の整備を図ります。							
前年度の改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 博物館の機能を十分に発揮し、施設を適切に維持・管理していくため、老朽化が著しい箇所から順次修理を進めていきます。 蔵造り資料館については、監督員、監理者、施工業者との事前協議を確実にし、これ以上の遅れがないよう工事を進めていきます。 							
平成30年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 博物館については、老朽化にともなう施設修繕(自動ドア、冷温水機、誘導灯等)及び消火設備の改修工事を行い、博物館機能を維持するための整備に努めました。 蔵造り資料館については、耐震化工事が出来高約33%の段階で、工事受注者が破産したため、契約を解除しました。 							
成果実績	項目名(単位)		H28	H29	H30			
	施設・設備の修繕件数(件)		18	8	8			
現状・課題	<ul style="list-style-type: none"> 博物館については、機能を維持するための応急的な修繕を実施してきました。施設の老朽化にともなう修繕を必要とする箇所を多く抱えている状況ですが、必要な修繕については実施されており、おおむね順調に進捗しています。 蔵造り資料館については、新たな工事業者との契約が必要であり、工期に遅れが生じています。 							
改善の方策等	<ul style="list-style-type: none"> 博物館の機能を十分に発揮し、施設を適切に維持・管理していくため、老朽化が著しい箇所から順次修理を進めていきます。 蔵造り資料館については、工事担当部署等と連携してあらためて工事契約を締結し、着実に工事を進めていきます。 							

【方向性】 II－活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(7) 博物館の整備・充実			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①展示機能の充実	博物館	C	B	B
	②郷土資料の収集・保存	博物館	B		
	③教育普及事業の充実と学校教育との連携強化	博物館	B		
	④博物館・蔵造り資料館の整備	博物館	C		
学識経験者等意見	<p>・博物館は川越の歴史や街を紹介する重要な施設であるため、観光客に対するアピールや導線等を工夫し、うまく活用していただきたい。</p> <p>・博物館事業について、小・中学生に関連付けた事業を行うことで、その後も博物館に通い、川越に詳しくなり、ひいては地元意識の向上に繋がると考える。</p>				

【方向性】Ⅱ－活力ある地域を創る生涯学習の推進 【施策】2 生涯学習活動の推進
 【施策の柱】(8)高等教育機関との連携の推進

細 施 策	①高等教育機関との連携体制の充実	担当課		担当課評価
		文化芸術振興課		B
施 策 の 内 容	・地域社会の発展と人材育成に寄与するため連携体制を整えます。 ・教育、文化、まちづくり等の分野において市内の大学等と協力します。			
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	毎年度、庁内各部署に連携調査を行い、市から大学、又は大学からの市への要望をとりまとめ、関係部署への取り次ぎを行い連携体制の充実に努めます。			
平 成 3 0 年 度 績 実	川越市と大学との連携に関する基本協定に基づき、大学のもつ研究・教育機能との連携を進めるため、2大学と連携会議を開催しました。 ①川越市と東邦音楽大学との連携会議:テーマ「川越市の教育現場の現状について」(1回1課所) ②川越市と東洋大学との連携会議:テーマ「空き家問題と関連する都市計画のあり方」に関する討論(1回7課所)			
成 果 実 績	項目名(単位)	H28	H29	H30
	川越市の連携会議参加課所数(延べ)	59	30	8
現 状 ・ 課 題	平成29年度までの会議は、事例発表が主なものとなっており、多くの参加課所数がありました。平成30年度はより実務的な意見交換の場とするため、テーマを絞った結果、参加課所数は減少となっていますが、会議の趣旨がより明確になり(教員志望の学生の育成、空き家の管理や活用)、懸案事項を具体的に話し合うことができ、より有益な会議の場となりました。今後も、会議の内容を含め、各大学の特性が生かせるよう、テーマ等について検討していく必要があります。			
改 善 の 方 策 等	市、大学双方で、当該年度での懸案事項を調査したうえで会議のテーマを決定し、より有益な会議となるよう、連携体制の強化や整備に努めます。			

細 施 策	②共催による講座等の充実	担当課		担当課評価					
		文化芸術振興課		A					
施 策 の 内 容	市内4大学との連携により、各大学の特徴を生かした講座を開催し、高度で体系的な生涯学習の機会の拡充を図ります。								
前 年 度 の 改 善 の 方 策 等	引き続き、市内4大学と連携し、アンケートの結果をいかした連携講座の実施と、より多くの市民の方に受講してもらうよう広報活動の充実に努めます。								
平 成 3 0 年 度 績 実	市内4大学と連携講座を実施し、199名の参加がありました。 ・東洋大学「芸術としてのスポーツ～身体が織りなすアート～(5回)」受講者29人 ・東京国際大学「日本語がわからない隣人と生きる～多文化共生の作法～(1回)」受講者35人 ・尚美学園大学「地理学・歴史学の最前線(3回)」受講者56人 ・東邦音楽大学「初めての音楽療法～音楽を健康に役立てる～(2回)」受講者79人								
指 標 及 び 説 明	【指標】 川越大学間連携講座の受講者数	【説明】 市内4大学との連携・協働による川越大学間連携講座の合計受講者数							
指 標 の 推 移	単位	実 績 値				目標値			
	人	基準値 (H26)	H27	H28	H29	H30	R1	R2	(R2)
		251	362	193	255	199			280
現 状 ・ 課 題	平成24年度から市内4大学との連携講座として実施しています。講座のテーマの人気度や、各年度によって講座の実施回数が異なることにより、申込み人数が大幅に変わってくるため、受講者数は各年度で増減の幅が大きくなります。平成30年度については、受講者数は減少しましたが、受講者の満足度は向上しており、様々なテーマの講座を実施しました。								
改 善 の 方 策 等	引き続き、市内4大学と連携し、アンケートの結果や大学の特徴を生かした連携講座の実施と、より多くの市民の方に受講してもらうよう広報活動の充実などに努めます。								

【方向性】 II ー活力ある地域を創る生涯学習の推進

【施策】 2 生涯学習活動の推進

施策の柱		(8) 高等教育機関との連携の推進			
施策評価	細施策	担当課	施策評価		総合評価
			細施策	施策の柱	
施策評価	①高等教育機関との連携体制の充実	文化芸術振興課	B	A	A
	②共催による講座等の充実	文化芸術振興課	A		
学識経験者等 意見	大学との連携講座については、大学側は市民の方がどういったニーズを持っているのか情報が少ないので、市として大学にどのような講座を求めているのか予め提示すべきと考える。				A